

知的障害者の競技支援を



障害者のスポーツ活動支援を呼び掛けた募金活動

SON青森が募金活動

八戸

知的障害者のスポーツ団体「スペシャルオリンピックス日本(SON)・青森」(土岐司会長)は22日、八

戸市のショッピングセンター「ラピア」で、知的障害者が経済的負担なくスポーツができるよう支援を呼び掛ける募金活動を行った。SON青森によると、同

市内では毎週日曜日、知的障害者が室内プールに集まって水泳に取り組んでいる。競技会に向けた練習のほか体力の維持、集団で練習することでコミュニケーション能力や社会生活になじむ力を育てる効果が期待できるといふ。

しかし、親が高齢化したり急逝してプール使用料の支払いが難しくなる参加者も出始めたことから、昨年からは青森市と八戸市で募金活動を始めた。

同日は、活動を応援するミス・ユニバース・ジャパン青森大会2016ファイナリストの高橋真慧さん(27)＝八戸市＝ら約10人が参加。買い物客に協力を呼び掛けた。

SON青森のメンバーで、水泳競技の竹洞兼視コーチは「募金活動をしていて、八戸では理解を示して

くれる人が多いと感じるの。動を知ってもらいたい」と話した。(小橋徹)